

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくれます	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞く他、公共施設予約システム導入への検討を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞き、より良い施設の管理運営を行っていく。
②①に基づく取組み結果	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者から意見を聞き、必要に応じて改善を講じた。公共施設予約システムについては、検討を行った結果利用者からの要望が少なかったため導入を見送ることとした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成の場となるよう適正な管理運営を行う。
②事務事業の概要	コミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者から意見を聞き、必要に応じて改善を講じた。公共施設予約システムについては、検討を行った結果利用者からの要望が少なかったため導入を見送ることとした。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	1施設当たりの利用者数	17,387	16,605	15,553	人 業務取得
	ii	1施設当たりの管理運営費	7,209	7,238	6,670	千円 業務取得
	iii	一人当たりの管理運営費	415	436	429	円 業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	45,004	40,311	金額(千円)	内容	43,661	
国支出金(千円)	0	0	15,030	指定管理料	0	
県支出金(千円)	0	0			0	
市債その他(千円)	0	0			0	
一般財源(千円)	45,004	40,311			43,661	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	指定管理者制度が導入されている3館については、モニタリング等で指定管理者者に対して適正な管理を行い、継続的に市民サービスの向上を図っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流の拠点となっており、高齢化が進むなか、地域住民にとっての価値が高まっているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行う他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	前年度から実施している栗野コミュニティセンター空調機改修工事を行う他、鎌ケ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託を行う。
②①に基づく取組み結果	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行った他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事を前倒して実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	計画的に改修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化計画に基づき、経年劣化した施設の外壁、屋上防水、空調設備の改修を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行った他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託及び工事の契約発注を行った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 利用者数	104,319	99,627	93,316	人 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算	(事業費)の主な内訳	令和2年度予算
事業費(千円)	10,400	17,858	金額(千円)	内容	31,690
国支出金(千円)	0		1,728	栗野空調設計委託	
県支出金(千円)	0		1,134	鎌ケ谷空調工事	
市債その他(千円)	7,800	11,400	1,296	南初富空調工事	20,900
一般財源(千円)	2,600	6,458	13,700	栗野空調工事(前金分)	10,790

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生する前に予防的な改修を行うことにより、経費の抑制を図ることが課題となっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化計画に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため。令和3年度は、鎌ケ谷コミュニティセンター外壁等改修工事を計画している。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	鎌ケ谷・南初富コミセン多目的ルーム空調機改修工事 栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	46,390	46,390	予算額	決算額		
②計画に対する事業実績	鎌ケ谷・南初富コミセン多目的ルーム空調機改修工事 栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託	46,390	46,390	当初	4,820	17,858	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	17,858
③達成状況	完了			補正	41,570			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				令和2年度への繰越額(単位:千円)	27,870			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	粟野自治会集会所及び中沢自治会集会所の修繕の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業への補助を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業及び富岡自治会集会所借家事業への補助を行う。
②①に基づく取り組み結果	事業実施を希望する自治会へ助言を行うことで、自治会館の持続的な運営に寄与した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の新築等を予定している自治会	意図(対象をどうするのか)	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自助意識の醸成をはかる。
②事務事業の概要	地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	集会所を持たない自治会へは借家事業を実施することで、自治会館を活用できるよう補助した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠	
	i	建築基準法改正(昭和56年)以降に建築された集会所を有する自治会館	21	23	23	自治会業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	0	2,170	金額(千円)	内容	25,160	
	国支出金(千円)		990	粟野自治会集会所修繕		
	県支出金(千円)		1,000	中沢自治会集会所修繕		
	市債その他(千円)		180	道野辺あおば自治会集会所借家		
	一般財源(千円)	0	2,170		25,160	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会との連絡調整を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	自治会を所有していない自治会や、集会所の老朽化が著しい自治会が複数あるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	粟野自治会集会所修繕、中沢自治会集会所修繕、道野辺あおば自治会集会所借家	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	粟野自治会集会所修繕、中沢自治会集会所修繕、道野辺あおば自治会集会所借家	2,180	2,180	当初	2,180	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		
				補正	0		
③達成状況	完了			2,170	現年分	2,170	
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)		0			